

がん検診の現状

1. はじめに

日本人の死因第1位は「がん」です。

本県でも、がんは昭和58年から死因の第1位となっており、令和5年の総死亡のうち、がんによる死亡者数は5,161人と全体の約21%を占めています。

また、国立がん研究センターによると、生涯のうち日本人の約2人に1人ががんにかかるかと推計されています。

2. がん検診とは

がん検診の目的：**早期発見・早期治療**により、がんによる死亡を減少させること

・ がん検診を受けるメリット

- 早期にがんを発見できる

なぜ早期発見が必要か？

→ 早期発見・早期治療であるほどその後の生存率が高くなる傾向にあるため

【ステージ別の5年生存率（ネット・サバイバル）】

部位	ステージ I	ステージ II	ステージ III	ステージ IV	全症例
胃	92.8%	67.2%	41.3%	6.3%	70.2%
大腸	92.3%	85.5%	75.5%	18.3%	70.9%
肺	81.5%	51.0%	28.6%	8.0%	44.4%
乳	98.9%	94.6%	80.6%	39.8%	91.6%
子宮(頸部)	94.9%	79.4%	64.0%	25.9%	74.4%
子宮(体部)	94.7%	87.6%	65.7%	21.5%	83.0%

(出典：がん診療連携拠点病院等 院内がん登録 2014-2015年5年生存率集計)

・ がん検診を受けるデメリット

- 判定・診断の結果が100%正しいわけではないため、結果的に不必要な検査を受けることになる可能性がある、検査自体が身体に負担がかかる など

3. 市町村におけるがん検診の対象者・内容（鹿児島県で推奨している対象年齢等）

	対象	頻度	検診項目
胃がん	40歳以上 (国の指針：50歳以上) ※1	1年に1回 (国の指針：2年に1回) ※1	問診， 胃部エックス線検査または 胃内視鏡検査
大腸がん	40歳以上	1年に1回	問診，便潜血検査
肺がん	40歳以上	1年に1回	質問（問診），胸部エックス線， 喀痰細胞診（50歳以上，喫煙指数600 以上）
乳がん	40歳以上	2年に1回	質問（問診），乳房エックス線検査 （マンモグラフィ）
子宮 頸がん	20歳以上	1年に1回 ※2 (国の指針：2年に1回)	問診，視診， 子宮頸部の細胞診及び内診 (細胞診は従来法またはLBC法)
	30歳以上		

「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」（平成20年3月31日付け厚生労働省健康局長通知）
 ※1 胃部エックス線検査は，当分の間，40歳以上，年1回でもかまわないとされている。
 ※2 平成28年度子宮がん部会において，HPV検査導入までの間は1年に1回としている。
 ※3 県内で，令和7年度中にHPV検査単独法を実施予定の市町村はなし。

4. がん検診受診率

本県のがん検診の受診率は，10年前と比較し，増加傾向にあるものの，依然として目標値より低い値で推移しています。

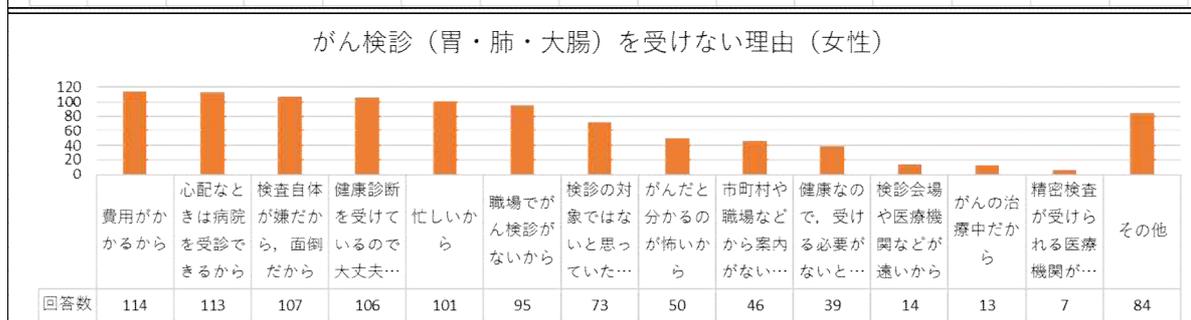
本県では『鹿児島県がん対策推進計画』において，全てのがん検診受診率の目標を「令和11（2029）年度までに60%」としています，達成は難しい現状にあります。

※ 乳・子宮は過去2年 (出典：国民生活基礎調査)

	男女合計			男			女			目標値
	2013年	2019年	2022年	2013年	2019年	2022年	2013年	2019年	2022年	2029年度
胃がん (40～69歳)	40.7	40.8	40.6	45.9	46.9	46.6	36.1	35.1	34.8	60%
大腸がん (40～69歳)	36.3	43.0	44.0	38.9	46.5	47.0	33.8	39.8	40.9	
肺がん (40～69歳)	46.4	53.9	51.4	49.2	55.7	54.4	43.1	52.3	48.0	
乳がん (40～69歳)	—	—	—	—	—	—	47.4	48.5	49.8	
子宮頸がん (20～69歳)	—	—	—	—	—	—	44.2	44.3	47.5	

(参考) がん検診に関する県民アンケート結果 (令和6年度 鹿児島県実施)

1. がん検診を受けない理由 (複数回答)



- ・ 健康診断を受けているので大丈夫だと思ったから
 - 健康診断とがん検診は別物であるため、健康診断を受けただけではがん検診を受けたことにはならない。
- ・ 費用がかかるから
 - 市町村のがん検診であれば、自治体が費用の一部を負担している (自分で受けるよりも、費用が安くなることが多い)。※金額は市町村によって異なる。
- ・ 心配なときは病院を受診できるから
 - 早期発見のため、自覚症状 (心配) のないうちから検診を受ける必要がある。
- ・ 職場でがん検診がないから
 - 会社や職場でがん検診がない場合は、市町村のがん検診を受けることができる。